

お客様紹介

シャボン玉グループ様

(ISO14001:2015認証登録)

〔取材者〕 審査員 美濃 英雄
Hideo Mino



シャボン玉石けん株式会社様は、福岡県北九州市で1910年に創業され、2010年に創業100周年を迎えられました。1999年にグループ4社でISO14001の認証を取得され、導入から18年を過ぎた現在では、社員の意識向上など社内

メリットも大きいと感じられているとのことでした。

2017年7月に2015年版移行審査を受けられ、改訂に伴いマニュアルのスリム化や更なる社員の意識向上に向けた取組みも行われています。審査で良かった点として、「目標設定として取組んでいた廃棄物削減において、生産量が增大している中、発生側での廃棄物の低減化と生産リサイクル率の工夫向上により大幅な廃棄実績を達成したこと」「製造部門の環境目標が、経営、事業活動と一体化されていること」などがあげられました。

シャボン玉石けん様では、無添加石けんを販売されており、その製造・販売を通して、環境保全に貢献されています。シャボン玉石けん様によると、そもそも、「石けん」と「合成洗剤」は、“モノや肌を洗う洗浄剤”という意味では同じであるものの、原料・製法・成分などが異なる、まったくの別物で、商品の成分表示を見れば石けんか合成洗剤かは、簡単に見分けがつくとのこと。成分に『石けん』という文字がなければ、合成洗剤として見てほば間違いないそうです。シャボン玉石けん様の無添加石けんは「石けん成分（液体は水も含む）以外は何も入っていない」、つまり、酸化防止剤・香料・着色料・合成界面活性剤は使用されておらず、昔ながらの釜炊き製法・ケン化法で作る無添加石けんは、原料の油脂に含まれている天然の保湿成分が残ります。天然の保湿成分を含んだ石けんは、肌にやさしく、お子さまから高齢者、敏感肌の方にも使用できるとのことです。

約2000種類ある合成界面活性剤には、人の健康や生態系に有害なおそれがある化学物質に指定されているものもあります。合成界面活性剤の人体や環境への影響は今なお調査中で、今現在安全とされているものも、今後指定される可能性はゼロではありません。石けんは、排水として海や川に流れ出ると、



本社工場（福岡県北九州市）

短期間で大部分が水と二酸化炭素に生分解されます。石けんカスも環境中に流れますが、微生物や魚のエサとなります。石けんは、生分解性に優れ、環境にもやさしい洗浄剤と言えます。

シャボン玉石けん様では、「健康な体ときれいな水を守る」という理念の下、「人にもやさしいものは、自然にもやさしい」という思いで、製品づくりに日々取り組まれています。工場見学（年間約1万5千人）や展示会、説明会などでの情報発信にも積極的に取り組まれ、更なる環境保全への貢献が期待されます。



高さ26メートルのスプレータワー



釜炊き職人の作業風景：石けんの出来具合を味見して確認

石けんと合成洗剤の違い

	石けん	合成洗剤（合成界面活性剤）
原料	天然油脂 (牛脂・パーム油・米ぬか油など)	石油や天然油脂
製法	ケン化法・中和法	化学合成
成分	<div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 固形・粉石けん 脂肪酸ナトリウム (石ケン素地) </div> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px;"> 液体石けん 脂肪酸カリウム (カリ石ケン素地) </div> ※石けんの成分は上記2種類のみです。	<div style="border: 1px solid yellow; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 直鎖アルキルベンゼン スルホン酸ナトリウム (別名:LAS) </div> <div style="border: 1px solid yellow; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> アルキルエーテル硫酸 エステルナトリウム (別名:ラウレス硫酸ナトリウム) </div> <div style="border: 1px solid yellow; padding: 5px;"> ポリオキシエチレンアルキルエーテル ラウリル硫酸ナトリウム ※その他約2,000種類あります。 </div>